第２期志布志市まち･ひと･しごと創生総合戦略（改訂版）等の取組状況について

令和８年７月
志布志市総合政策課

目次

◦ 第３期志布志市人口ビジョンについて　Ｐ１

◦ 地方創生に関する総合戦略について　Ｐ３

◦ 地域未来戦略について　Ｐ５

◦ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について　Ｐ７

◦ 効果検証について　Ｐ８

・主な取組状況と成果等

◦ スケジュールについて　別紙

志布志市第３期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（R8.3月版）

志布志市の第３期人口ビジョン

・Ｒ８年中に第3期総合戦略を策定するにあたり、まち・ひと・しごと創生の実現に向け、効果的な施策を企画・立案するうえで、人口及び住民生活の現状を分析し、人口及び市民生活に関する意識の共有を図るとともに、人口の将来展望と今後目指すべき方向性を提示するものとして作成【対象期間は令和52（2070）年まで】
・本市は「社会増に力を入れる」ことに注力することが将来的な市全体の人口減少の抑制につながっていく一方で、仮に一定程度人口減少の抑制が実現できたとしても中長期的な人口減少は避けられないと分析されている。

これから取り組むべき「人口戦略」

１　市民の意識の共有

○人口減少がもたらす「超高齢化」と「果てしない縮小と撤退」など重大な事態を認識してもらう
○地域課題を自分ごと化する人材の育成

２　若者、特に女性の最重視

○結婚や子どもを持ちたいという希望実現できるよう、社会環境づくりの推進
○子どもを生み育てやすい環境の整備
○雇用創出や居住環境の整備といった若年者の流出防止策の推進

３　社会増対策に注力

○転出超過の抑制や移住促進等の社会減対策に優先的に取り組む
○ 市外に転出しても戻ってきて、暮らし続けてもらえる環境を実現

幸福度及び生活満足度

・「幸福度」の平均値は、全国調査と同程度の水準となっており、幸福度に与える影響が強いと考えられる分野として、「住宅環境」「健康状態」が挙げられる。この２分野については、全国調査と比較すると満足度が高く、志布志市の強み。
・「生活満足度」の平均値は、全国調査と比較しやや低い。「医療・福祉」「買い物・飲食」「地域行政」「公共空間」「地域とのつながり」「多様性と寛容性」「雇用・所得」「事業創造」志布志市の弱みであり改善が必要と考えられる。

市民の幸福度・生活満足度の向上を図る観点から、調査結果も参考としながら、今後のまちづくりの方向性を定めていくことが必要

第３期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（R8.3）

・「社会増に力を入れる」ことに注力することが将来的な市全体の人口減少の抑制につながっていくと分析し、人口減少を正面から受け止めた施策展開や人材育成等の新しい視点も取り入れながら、必要に応じて官民連携で取り組んでいくことが重要。

・単に人口減少の抑制に取り組むだけでなく、人口が減っても豊かに暮らせる持続可能なまちづくりを推進していくことが必要。

＜人口の将来展望＞
令和12年度に
目標人口24,700人程度
の人口を維持する

現状と課題

①急激な人口減少

〇2050年には約1.7万人まで減少すると予測

②最大の要因「社会減」

〇進学や就職を機に若い世代（特に女性）が転出

③自然減の拡大

〇若い世代が減ることで出生数減
　高齢化で亡くなる方が増える死亡数増

④住民満足度と幸福度

〇市民アンケートでは「雇用」「医療・福祉」「買い物」など、生活に身近な分野で満足度が低い傾向

目指すべき方向性

自然減への対策も重要であるものの、中長期的人口減少への影響がより大きい**社会減への対策**（転出超過の抑制や移住促進等）**を優先的に**取り組むべきである。

①転出した若者も「戻ってきたい」「住み続けたい」と思える魅力的な環境整備

②子どもを産み育てやすく、親世代を増やす

③多様な担い手とデジタルを活用

④市民の満足度を高め、持続可能なまちへ

地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取り組みのフォローアップと推進戦略～

地方創生の取組について

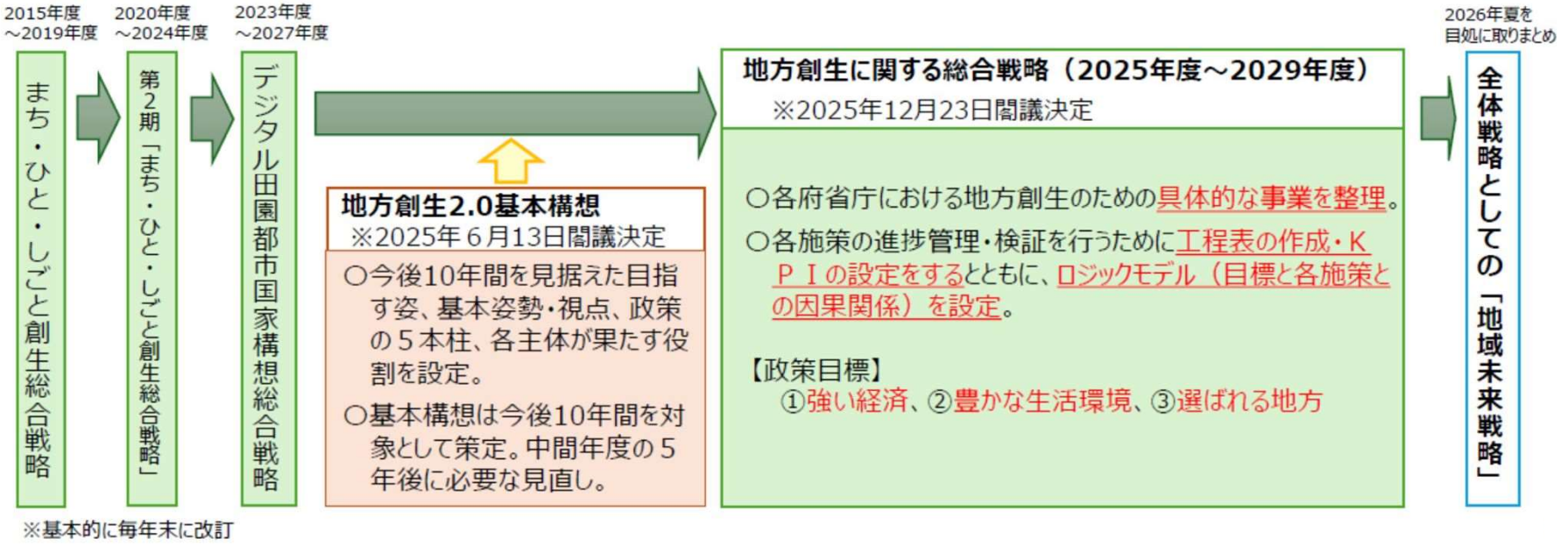
○2014年に「地方創生」を開始して以降、まち・ひと・しごと創生法の下で、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための取組を進めてきた。

○2025年６月には、「地方創生2.0基本構想」が閣議決定され、今後10年間を見据えた地方創生の方向性が定められた。

○上記を踏まえ、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を変更し、「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」（2025年12月23日閣議決定）を策定。

※まち・ひと・しごと創生法では、まち・ひと・しごと創生に関する目標及び施策に関する基本的方向並びに政府が講ずべきまち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定（閣議決定）することとされており、2014年以降、総合戦略を累次策定している。（基本的に毎年末に改訂）

○本総合戦略で整理された施策を基盤に、「強い経済」の実現に力点を置いた全体戦略としての「地域未来戦略」を2026年夏を目処に取りまとめる。施策を追加することで、大きく３つの類型のクラスターを推進。



※基本的に毎年末に改訂

地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～（概要）

（令和7年12月23日閣議決定）

1．「地方創生に関する総合戦略」について

○「まち・ひと・しごと創生法」において、同法第８条第１項に規定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するに当たっては、検証に資するよう総合戦略の実施状況に関する客観的な指標を設定することとされている。

○「地方創生に関する総合戦略」では、これまでの地方創生の取組をフォローアップするとともに、地方創生施策の推進戦略を取りまとめるに当たり、各府省庁における地方創生のための具体的な事業を整理するとともに、各施策の進捗管理・検証を行うために工程表を作成するとともにＫＰＩを設定。これにより、総合戦略全体の実効性を高める。

政策目標：①強い経済、②豊かな生活環境、③選ばれる地方

政策目標①　強い経済

＜ＫＰＩ＞
東京圏以外における就業者一人当たり年間付加価値労働生産性の伸び率：東京圏以上（2029年）

＜地域における高付加価値型産業創出＞
- 多様な地域資源をいかしたインバウンドの促進
- ワット・ビット連携の推進
- 産学官連携によるオープンイノベーションの推進　等

＜地域の人材力強化＞
- デジタル人材の育成
- リスキリング支援　等

政策目標②　豊かな生活環境

＜ＫＰＩ＞
生活インフラの質の維持や暮らしへの安心感により、地域での生活がこれから良くなっていくと思う人の割合：向上（2029年）

＜持続可能な生活インフラの実現＞
- 「交通空白」の解消等に向けた地域交通のリ・デザインの全面展開
- 新たなモビリティサービスの社会実装の実現
- 地域くらしサービス拠点の形成

等

＜地域の暮らしの満足感向上＞
- 地域医療提供体制の維持・確保
- 日本版CCRCの展開
- スマートシティの推進　等

政策目標③　選ばれる地方

＜ＫＰＩ＞
東京圏以外で暮らすことを希望し実現できている、若者や女性の人数及び割合：向上（2029年）

＜魅力が感じられる地方の実現＞
- 地域の働き方・職場改革の推進
- 女性の起業支援
- 地方大学・地域産業創生交付金
- ふるさと住民登録制度
- 地方創生移住支援事業　等

地域未来戦略について

「地域未来戦略」で取り組む内容

2025年12月４日
地域未来戦略本部 資料４参考資料

「地域未来戦略」で取り組む内容

地域未来戦略

（所信演説）“地域を超えたビジネス展開を図る中堅企業を支援し、大胆な投資促進策とインフラ整備を一体的に講ずることで、地方に大規模な投資を呼び込み、地域ごとに産業クラスターを戦略的に形成していくことで、「地域未来戦略」を推進します。”

地域ごとに産業クラスターを戦略的に形成するとともに、**地場産業の付加価値向上と販路開拓を強力に支援**

地域ごとに戦略産業クラスター計画を策定
※ 日本成長戦略会議で挙げた戦略分野を中心に、地域のコミットメントを得ながら、知事とも連携し策定。

知事主導で各都道府県における地場産業の成長プランを策定

①成長投資促進策と一体のインフラ整備

○成長投資の促進
・成長投資促進策の検討
【日本成長戦略会議で議論】
※ 別の会議体を中心に検討される予定。

○GX産業立地
・「GX戦略地域」を選定し、支援と規制・制度改革を一体的に措置
【GX実行会議WGで議論】

○投資と一体での関連インフラ整備・人材育成
・地域毎の投資・インフラ・人材需要を可視化し、必要な措置を検討

②地域産業のエコシステム形成

○中堅・中小企業の投資・ビジネス展開
・中堅・中小等の大規模設備投資への支援
・地域経済全体を底上げする100億企業の創出
・地域を支える中小・小規模事業者の持続的な発展に向けた支援
・地域波及効果の高い企業への重点支援

○地域イノベーション支援
・地方大学発、高専発スタートアップの創出・成長支援
・地方大学や産総研の産官学連携拠点整備

○人材育成・確保支援
・大企業人材の活用促進（レビキャリ等）
・地域一体での人材育成・確保

○産業用地の確保促進（集積立地の促進）
・産業用地整備に関する金融措置等の検討
・規制見直し（緑地規制、工業用水等）に係る検討

○エッセンシャルサービスの維持向上
・産業の担い手の確保のため、生活関連サービス供給の持続化の支援枠組みの創設を検討

国内投資・立地促進に向け法制的な措置を検討

国は、今年夏ごろまでに、政策パッケージを取りまとめるとしている。

地域未来戦略について

	A.戦略産業クラスター計画	地域産業成長プラン B.地域産業クラスター計画	地域産業成長プラン C.地場産業成長プラン
クラスターの概要	● 熊本のＴＳＭＣや北海道のラピダスを支えるクラスターのように、１７の戦略分野*に関する検討が主導する形で企業の大規模投資を中心に形成されるもの。 ● 道路、工業用水、下水道など必要なインフラ整備や空港アクセス鉄道等の周辺拠点整備等、産業人材育成等を一体的に実施。 ● 都道府県域をまたぐ地域ブロック単位のものを主に想定。	● 知事等主導で形成されるクラスターであって、力を入れる産業分野及び重点支援をすべき企業等を特定し、複数自治体の連携促進や中堅企業支援策の適用など、政府の施策の戦略的活用をプッシュ型で提案していくことで、その形成・拡大を目指すもの。 ● 市町村域をまたぐ都道府県単位のものを主に想定。	● 地方の伸び代である、可能性を秘めた魅力あふれる地域資源（農林水産・食品、観光、スポーツ、伝産品等）について、未だ活用されていない地域資源の発掘・新規活用や、既に活用されてきた地域資源の加工度を高める・地域外の新たな商流の開拓等さらなる深堀りを進めながら、付加価値の創出と地産外商の推進を図り、地域経済の一層の拡大を目指すもの。 ● 市区町村～都道府県単位のものを主に想定。
計画要件	【都道府県のプロジェクト提案の要件】 ● 日本成長戦略本部における、17の戦略分野に関する検討と整合していること。 ● 実現に向けて必要な予算措置について、関係省庁との事前調整が開始されていること。 ● 一定の大規模投資の見込みがあること。 ● 地域の経済発展のため、賃上げも含めた持続可能な地域の労働環境整備に貢献すること。　等	● 実現する製品・サービスが海外輸出で外貨を稼げる又は国内で上位シェアを目指せるものか ● 域外企業の誘致の場合、労働・技術の現地化のロードマップ及び収益の再投資方針を示し、立地する地域に裨益するものか ● 域内への波及効果として、域内取引額、売上額、持続可能な労働環境の整備（雇用の創出・賃上げ等）に関する目標値を設定できているか ● 計画期間中の継続的な自治体の伴走支援体制があるか　等	● 実現する製品・サービスが、既存製品・サービスと比較して付加価値を高める、販路拡大が見込まれるものか ● 域内への波及効果として、域内取引額、売上額、持続可能な労働環境の整備（雇用の創出・賃上げ等 ）に関する目標値を設定できているか 等 ● 自治体で相談窓口を設置しているか　等
策定プロセス	● 各地方経済産業局が中心となり**「戦略産業クラスター有識者検討会」**において、ブロックごとに**「戦略産業クラスター計画の素案」**を策定。 ● 国は、日本成長戦略本部で策定される分野別の**「官民投資ロードマップ」**と**「計画の素案」**の両方に整合する**候補プロジェクト案件**を都道府県から受け付け、「計画の素案」を基に**「戦略産業クラスター計画」**を策定。	● 都道府県等は、力を入れる産業分野を特定した**「地域産業クラスター計画」**を策定し、併せてコネクター度・ハブ度の高さ等を踏まえ、当該プランにて審査上の考慮を行う重点支援企業等を選定。 ※コネクター度：企業の域外販売額／企業が所在する都道府県の域外販売額 ハブ度：企業の域内仕入額／企業が所在する都道府県の域内仕入額	● 都道府県又は市町村は、地域資源を最大限活用する地場企業等について、付加価値向上や販路拡大を目指す**「地場産業成長プラン」**を策定する。
成長戦略との関係性	成長戦略における17分野の官民投資ロードマップと整合するもの	成長戦略における17分野の官民投資ロードマップに限らず、幅広い産業を支援	
関係事業者のイメージ	大企業 中堅企業 中小企業 個人事業主 農林水産業従事者		
支援策(例)	**インフラ等支援の検討** 例）地域産業構造転換インフラ整備推進交付金 産業用地整備支援 産業界の人材需要の明確化、これを踏まえて大学、高専等の産業人材の育成等	**関係省庁の支援施策での審査上の考慮（加点措置やコネクター度・ハブ度を踏まえた審査等）** 例）大規模成長投資補助金、各省の補助金等【施策を募集】等	**交付金支援・ソフト支援対象** 例）地域未来交付金での優先採択 特区制度を活用した規制・制度改革 関係省庁による支援策（観光、農林水産物・食品の輸出支援等）
	新たな財政措置の検討		
	地域のクラスター・地場産業を支える仕組みづくりへの支援 人的・財政的資源を成長分野に振り分けるために、公共施設等の集約再配置、地域経済を支える基盤機能との連携、持続可能な地域公共交通の実現を一体的に再構築する取り組みを支援　等		

*:①AI・半導体、②造船、③量子、④合成生物学・バイオ、⑤航空・宇宙、⑥デジタル・サイバーセキュリティ、⑦コンテンツ、⑧フードテック、⑨資源・エネルギー安全保障・GX、⑩防災・国土強靭化、⑪創薬・先端医療、⑫フュージョンエネルギー、⑬マテリアル（重要鉱物・部素材）、⑭港湾ロジスティクス、⑮防衛産業、⑯情報通信、⑰海洋

第２期志布志市まち･ひと･しごと創生総合戦略について

第２期志布志市まち･ひと･しごと創生総合戦略（2022年度～2026年度）

・人口ビジョンで示した目指すべき将来の方向性を踏まえ、本市の様々な問題の大きな要因となる人口減少問題を克服するために策定
・国及び県の第２期総合戦略を踏まえ、４つの基本目標を設定
※本戦略の基本目標は、総合振興計画の中では重点プロジェクトとして位置付け
・令和８年度中に第３期総合戦略策定予定



資料：第２次志布志市総合振興計画後期基本計画

基本目標１　稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする

〇農林水産業の成長産業化　〇企業誘致　〇志布志港輸出拡大　〇地元活躍人材育成　など

基本目標２　ひとや企業とのつながりを築く

〇都市住民向けPR　〇移住定着拡充　〇関係人口創出･拡大　〇官民連携推進　など

基本目標３　結婚･出産･子育て･教育の希望をかなえる

〇結婚支援　〇子育て支援　〇仕事子育て両立支援　〇こころざしｱｯﾌﾟ教育推進　など

基本目標４　魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる

〇快適な生活支援　〇商工業賑わい創出　〇観光パワーアップ　〇環境にやさしいまちの推進　〇地域防災力強化　など

まち・ひと・しごと創生総合戦略　効果検証（Ｒ７総括）

基本目標	指標数 （事業数）	主な事業
基本目標１ 稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする	8 （32）	・特産品振興事業 ・新規就農支援事業 ・企業立地推進事業 ・雇用促進事業
基本目標２ ひとや企業とのつながりを築く	9 （20）	・シティセールス事業 ・若者・子育て世帯移住支援事業 ・ジュニアリーダークラブ・インリーダークラブ支援事業 ・企業版ふるさと納税事業
基本目標３ 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	11 （27）	・出会いサポート事業 ・子ども家庭センター事業 ・保育料無償化事業 ・デジタル化推進事業（デジタル教科書・オンライン教材導入事業）
基本目標４ 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	16 （42）	・志布志市地域公共交通活性化協議会運営事業 ・プレミアム商品券（デジタル商品券）発行事業 ・重層的支援体制整備事業 ・災害対策事業
合　計	44 （121）	

数値目標

・目標達成A評価が１つ、「目標達成に至らないが十分効果が発現している」Ｂ評価と「目標達成に至らないが多少効果が発現している」Ｃ評価が６割を占めており、ある程度地方創生に効果があったと評価ができると考えられる。一方で、「目標達成に向けた効果が発現していない」Ｄ評価が１割あることを踏まえると、数値目標を達成するために、各事業の取組等について再検討する必要があることが伺える。
・今後は、目標達成あるいは目標達成見込となる評価が増えるように、各課において目標達成に向けた事業展開が望まれる。

	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
基本目標１		1	1		
基本目標２	1			1	
基本目標３			1		2
基本目標４		2	1		
計	1	3	3	1	2

※数値目標の単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、一部評価が異なる場合があります。

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標１）

～稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする～

事業名	**有害鳥獣捕獲事業**	担当課 グループ	農政畜産課作物グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**1-1　農林水産業の成長産業化プロジェクト**	振興計画 施策名	3-2-3-⑺　生産基盤の整備
事業概要	猟友会との連携を図り、有害鳥獣の駆除への支援を行う。また、有害鳥獣対策に対して総合的な管理を行うことができるシステムの導入検討を行い、捕獲従事者の負担軽減、農作物被害の防止を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）猟友会と協議を行いICTを活用し管理ができる罠及び、捕獲の管理ができるシステムについて検討した。捕獲管理システムについては、捕獲従事者の省力化に直結するためR8に導入を予定している。 **課題**）罠の導入については、すべてがICTを活用する必要がないとの意見もあり、導入に向けてさらに検討が必要である。 **改善点**）実際に使用する捕獲従事者の大半が60歳以上であり、スマート農業に抵抗がある会員も多くいる。今後、利活用のための継続的な支援は必要になる。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標１）

～稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする～

事業名	**経営開始資金事業**	担当課 グループ	農政畜産課農政グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**1-2　新規就農総合支援プロジェクト**	振興計画 施策名	3-2-1-⑴　担い手の確保・育成
事業概要	独立・就農時（経営開始計画に即して主体的に農業経営を行っている者）の年齢が、原則49歳以下の者に対し、年間最高150万円を最長３年間交付するほか、交付終了後５年間の就農状況報告等を行う。		
成果・課題 改善点	**成果**）新規就農者が安定した農業経営を確立させるまでの間、初期投資や運転資金の負担を軽減し、円滑な経営開始が図られた。 **課題**）補助金に頼った経営を行ってしまい、交付終了後に運転資金不足に陥る可能性がある。 **改善点**）就農状況報告や圃場確認を適宜行いつつ、経営が悪化する前にサポートチームと連携をして新規就農者に対し指導・助言を行う 新規就農者が安定した農業経営を行えるよう、サポートチームと連携を行う。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**D**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標１）

～稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする～

事業名	**輸出促進支援・志布志港ＰＲ活動事業**	担当課 グループ	みなと振興課みなと振興グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**１－４　志布志港輸出拡大プロジェクト**	振興計画 施策名	3-5-2-⑹　市内外の販路拡大と増進
事業概要	志布志港からの食品輸出貨物の増加を図るため、海外食品市場視察ミッションや海外食品見本市への参加経費を助成し、特産品等販路拡大のための海外輸出を支援する。また、志布志港背後圏域の商材の販路拡大により、志布志港からの輸出促進を図る。更に、各展示会等に参加し、志布志港の物流サービスや助成制度をＰＲし、国内外の事業者に対して志布志港の認知度を高め、志布志港の更なる利活用促進を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）市観光特産品協会に委託し事業を実施した。主に台湾をターゲットに展示会出展やテストマーケティング、バイヤーの招へい等を実施した。市内外の商品を出品し現地での商談等を実施した。 **課題**）事業者が直接貿易をしていくことになると事務量の膨大さ、煩雑さからハードルが高い。 **改善点**）最初から出展ではなく、視察ミッション等をはじめに行うことにより、出展や間接貿易、直接貿易につなげていきたい。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標１）

～稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする～

事業名	**志布志港新若浜地区国際コンテナターミナル利用促進事業**	担当課 グループ	みなと振興課みなと振興グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**1-4　志布志港輸出拡大プロジェクト**	振興計画 施策名	**3-1-2-⑴　企業誘致の推進**
事業概要	志布志港新若浜地区国際コンテナターミナルの利用促進を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）輸入貨物：26,665TEU、 輸出貨物：13,655TEU 助成金計：40,249,000TEU **課題**）輸入過多である **改善点**）市内産品のみならず、大隅半島、都城圏域の食品、農林水産品の輸出を図るべく、多方面に働きかけていく。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標１）

～稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする～

事業名	**奨学金返還支援事業**	担当課 グループ	総合政策課地域政策グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**1-6　地元活躍人材育成プロジェクト**	振興計画 施策名	3-1-1-⑹　雇用・就労の支援対策
事業概要	市内に在住し、奨学金の貸与を受け、返還している方に対し、前年度奨学金返還金額（限度額は240,000円）を補助する。		
成果・課題 改善点	**成果**）事業の周知をホームページ、自治会使送便によるチラシ配布や市内企業等を訪問、説明したことで　認定者は年々増加しており、特に若者の移住定住の促進が図られた。 **課題**）毎年度４月１日現在で居住要件や就業要件を定めているため、年度途中での転入や雇用等の場合は当該年度は対象とならないケースが生じている。更に本市への若者の移住定住を促進するため、制度の拡充を検討する必要がある。 **改善点**）毎年度４月１日現在で居住要件や就業要件を定めていたが、随時、対応できるように制度を拡充することで、更に本市への若者の移住定住を促進する。		**志布志市内に定住する若者の奨学金返還を支援します** 
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

事業評価

・基本目標１は、６つのプロジェクトから構成されている。
・６つのプロジェクト全32事業の評価について、Ａ評価からＣ評価が全体の約97%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。

A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	F評価	G評価
3	9	19	1	0	0	0

重要業績評価指数（KPI）

・重要業績評価指数（ＫＰＩ）については、「目標達成に至らないが十分又は多少効果が発現している評価がほとんどであるが、効果が発現していない評価が１つあるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

S評価	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
0	2	2	1	1	0

※事業評価、ＫＰＩは単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

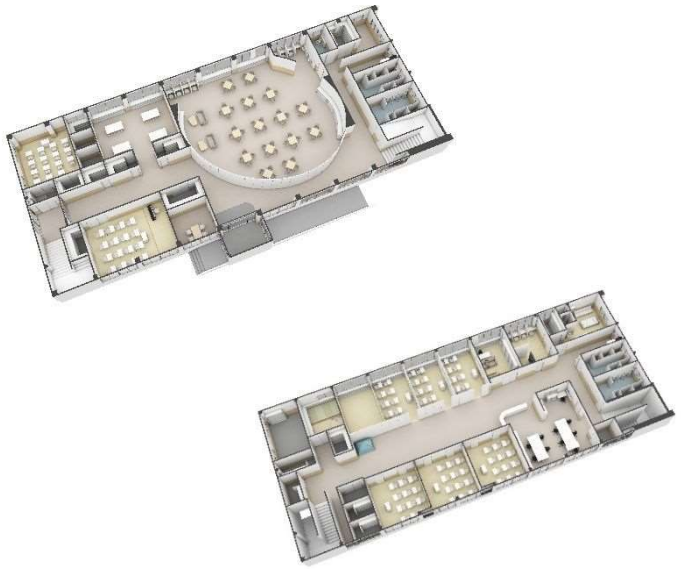
Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標２）

～ひとや企業とのつながりを築く～

事業名	**多世代交流施設整備事業**	担当課 グループ	総合政策課政策推進グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**2-2　移住定着拡充プロジェクト**	振興計画 施策名	4-3-1-⑴　子育て支援の充実
事業概要	旧ひばりビルについて、屋内遊具やコミュニティスペース、コワーキングスペース等を整備し、子育て世代を中心に多くの世代が交わり、新たな交流が生まれる施設として整備する。		
成果・課題 改善点	**成果**）建築工事を終え、建物を改修し屋内遊具やコワーキングスペース等を整備した。指定管理者による施設運営を決定し、公募により指定管理者を選定した。国の交付金申請を行い、開業に向けた令和８年度の整備費用を確保した。 **課題**）令和８年７月の開業を目指し、施設利用者のサービス向上につながるような入退館システム、備品、Wi-Fi環境などの整備を急ぐ必要がある。また、開業後の入館者数について、指定管理者による運営により当初の想定より増える見込みで、特に週末の駐車場不足について、対応が急がれる。 **改善点**）開業に向けた準備に継続して取り組むと同時に、施設の広報に努める。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**A**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標２）

～ひとや企業とのつながりを築く～

事業名	**小学校施設改修事業 （学びの多様化学校整備事業）**	担当課 グループ	教育総務課総務施設グループ （建設課　建築住宅グループ）
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**2-3　まち思い人材育成プロジェクト**	振興計画 施策名	5-1-1-⑹　知・徳・体の調和のとれた教育の推進
事業概要	県内初の公立「学びの多様化学校（不登校特例校）」を有明庁舎別館に整備するための設計業務。		
成果・課題 改善点	**成果**）既存施設の有効活用を図るべく、国の交付金を活用し、学びの多様化学校（不登校特例校）の設置に向けた設計を完了した。 **課題**）元々庁舎として利用していた建物であるため、用途変更に伴う建築基準法等の、適合確認などに時間を要した。 **改善点**）なし		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**E**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標２）

～ひとや企業とのつながりを築く～

事業名	**ふるさと納税推進事業**	担当課 グループ	シティセールス課セールスグループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**2-4　関係人口創出・拡大プロジェクト**	振興計画 施策名	3-5-1-⑴　特産品PRの推進
事業概要	特産品振興として、市内で生産された特産品を中心にふるさと納税返礼品として採用し、全国へ広くＰＲを行う。		
成果・課題 改善点	**成果**）昨年度の産地偽装の影響が残る中、楽天TDAやアフィリエイトなど、数々の広告や産地PRに取り組んだ。また、経費率の常時把握できる環境整備、市として事業者や寄附者へ伝達すべきことの徹底など、身近で予算無くできることに率先して取り組んだ。 **課題**）昨年度の産地偽装の影響、その間で進む他自治体と比較して施策実施の遅れ、制度改正への対応など、全体として後手の状況にある。国内人口が減少する中、寄附者数の全体パイは限られる。やるべきことを整理し、寄附していただいた方が再度”リピート寄附”をしていただき、寄附者数を増やしていくことが必要。 **改善点**）他自治体と比較して施策実施の遅れ、制度改正への対応、観光振興計画策定などを網羅し、やるべきことを整理し、まずは、”やって当たり前”のことを実直に進め、基盤整備を行っていく。その上、効果検証や施策の取捨選択を行いながら、寄附増対策とリピート寄附者層の拡大を図る。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

事業評価

・基本目標２は、５つのプロジェクトから構成されている。
・５つのプロジェクト全20事業の評価について、Ａ評価からＣ評価が全体の90%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。一方でＤ評価については、目指す指標を上回るように事業展開の検討の必要性があると伺える。

A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	F評価	G評価
0	2	17	1	0	0	0

重要業績評価指数（KPI）

・重要業績評価指数（ＫＰＩ）については、目標達成には至らないが、効果が発現しているＫＰＩもある一方、効果が発現していないＫＰＩがあるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

S評価	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
0	1	2	3	1	2

※事業評価、ＫＰＩは単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標３）

～結婚･出産･子育て･教育の希望をかなえる～

事業名	**こども家庭センター事業**	担当課 グループ	こども子育て課こども家庭グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**3-2　ウェルカム赤ちゃんプロジェクト**	振興計画 施策名	4-3-2-⑷　母子保健の推進
事業概要	全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して、出産前から子育て期にかかる切れ目のない、相談支援等を一体的に行う。		
成果・課題 改善点	**成果**）母子保健と児童福祉の両機能を併せ、相談支援等を一体的に行うこども家庭センターを令和7年4月にこども子育て課内に設置した。両機能の強みを活かしながら、相談支援体制が充実した。 **課題**）虐待事案など問題が複雑化しているケースが増加しており、支援者のスキルアップが必要である。 **改善点**）研修会への参加やケースカンファレンスなどの充実により、事業の質の向上を図り、継続支援が必要なケースへの関わりを積極的に行っていく。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標３）

～結婚･出産･子育て･教育の希望をかなえる～

事業名	**妊婦のための支援給付交付金事業**	担当課 グループ	こども子育て課こども家庭グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**3-2　ウェルカム赤ちゃんプロジェクト**	振興計画 施策名	4-3-1-⑵　子育て支援の充実
事業概要	妊婦の産前産後期間における身体的・精神的・経済的負担を軽減し、妊婦や胎児であるこどもの保健及び福祉の向上を目的に、妊娠届出時5万円・出産後5万円×胎児の数を給付し、同時に相談支援を行う。		
成果・課題 改善点	**成果**）必ず面談を実施する必要があることを理解していただき、面談終了後には応援金を支給し、相談内容に応じて子育てサービスの案内を行うとともに、必要な方を適切な支援へつなぐことができた。 **課題**）制度変更があり、流産や死産の方も対象となり、相談支援も合わせ、しっかりと対応していく必要がある。 **改善点**）令和7年度より法律に基づく制度として実施することとなったため、対象者に必ず支給していくとともに、相談支援も充実させていく。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標３）

～結婚･出産･子育て･教育の希望をかなえる～

事業名	**保育料無償化事業**	担当課 グループ	こども子育て課子育て支援グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**3-3　子育て支援プロジェクト**	振興計画 施策名	4-3-1-⑶　子育て支援の充実
事業概要	０歳から２歳までの児童に係る保育料について無償化を行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）子育て世帯の経済的負担の軽減が図られ、子育てしやすい環境を整えることができた。 **課題**）令和６年４月から実施しているが、新規の保育園利用者等は、保育料を市が負担していることを知らない場合がある。 **改善点**）市の子育て支援策について、周知広報を行う。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標３）

～結婚･出産･子育て･教育の希望をかなえる～

事業名	**デジタル化推進事業（デジタル教科書・オンライン学習教材導入事業)**	担当課 グループ	学校教育課学校教育グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**3-5　こころざしアップ教育推進プロジェクト**	振興計画 施策名	5-1-1-⑷　知・徳・体の調和がとれた教育の推進
事業概要	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたりするために指導者用デジタル教科書を導入し、児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）活用が定着してきており、授業におけるドリル学習や確認問題、持ち帰りによる家庭学習、不登校児童生徒の学びの多様化に対応した活用、オンライン学習等活用の拡充が図られた。 **課題**）学習者主体の授業づくりが今後も求めれている。未来を拓く子供を育成するためにも、今後も授業力向上のために様々な講師から専門的な助言をいただき、教員の授業力向上を図っていく必要がある。 **改善点**）デジタル教科書をどのように活用することで教育効果を上げることができるかについて、更に研修を深め、子供たちの学力向上につなげていく必要がある。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標３）

～結婚･出産･子育て･教育の希望をかなえる～

事業名	**校務支援システム導入事業（小・中学校）**	担当課 グループ	学校教育課学校教育グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**3-5　こころざしアップ教育推進プロジェクト**	振興計画 施策名	5-1-1-⑷　知・徳・体の調和がとれた教育の推進
事業概要	市内小・中学校に統合型校務支援システムを導入し、教職員間の情報共有及びデータベース化を図り、教職員の業務負担を軽減し、教育の質的向上を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）成績処理、出欠管理、指導要録や学籍情報、保健室の記録、学校から保護者への連絡など、従来紙やバラバラのソフトで行っていた業務をまとめて扱えるようになり、情報共有や事務負担の軽減が図られた。 **課題**）システムに慣れるまで時間が必要であることやデータ管理方法の統一がなされておらず、情報の共有化が進まない事例もある。 **改善点**）システム操作研修等によるシステムの有効活用を図る必要がある。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

事業評価

・基本目標３は、５つのプロジェクトから構成されている。
　５つのプロジェクト全27事業の評価について、Ａ評価からＣ評価が全体の100%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。今後は、Ａ評価に近づけるよう事業を推進していくことが望まれる。

A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	F評価	G評価
4	15	8	0	0	0	0

重要業績評価指数（KPI）

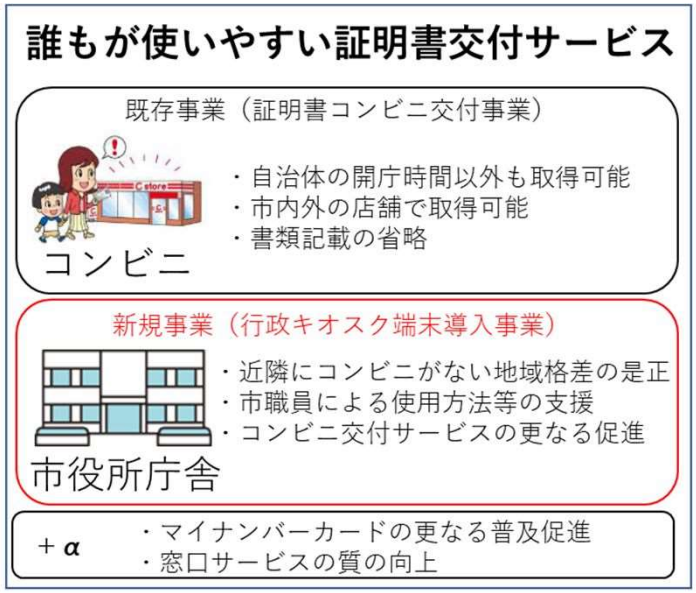
・重要業績評価指数（ＫＰＩ）については、目標達成したものが３つあるが、効果が発現していないＫＰＩがあるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

S評価	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
3	0	5	2	1	0

※事業評価、ＫＰＩは単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**デジタル化推進事業 （キオスク端末導入事業）**	担当課 グループ	総合政策課ＤＸ・広報グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	1-3-①-⑷　情報通信技術の活用
事業概要	コンビニ交付サービスにおいて、近隣にコンビニがないことや使用方法等が分からずサービスを活用できないことから、本庁及び各支所に行政キオスク端末を設置することによって、誰もが使いやすいサービスを構築する。また、コンビニ交付サービスを体験する機会を提供し、そのメリットや安全性等を体感してもらい、コンビニ交付の利用拡大を図るとともに、さらなるマイナンバーカード普及と、発行機利用による窓口混雑緩和を図り窓口サービスの質を向上させる。		
成果・課題 改善点	**成果**）地域のデジタル人材育成講座、初心者向けスマホ教室、スマホ相談所の開設 **課題**）高齢者などを代表に、デジタルデバイドを解消する効果的な事業は近隣自治体でも見られないことから、住民のニーズやデジタル化の進展に合わせ事業を展開していく必要がある。 **改善点**）デジタル化を身近で感じれるようスマホ相談所の展開を充実化させる。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**デジタル化推進事業（多言語翻訳ディスプレイ）**	担当課 グループ	コミュニティ推進課 ダイバーシティ推進グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	6-2-3-⑴　多文化共生社会の実現
事業概要	在留外国人等に対し、在留手続、雇用、医療、福祉、 出産・子育て・子どもの教育等の生活に係る適切な情報提供及び相談を多言語で行う行政サービスを実現し、もって、在留外国人が住みやすい環境整備を図り、多文化共生社会の実現に資する。		
成果・課題 改善点	**成果**）多言語通訳システムを導入し、8月から運用を開始したことで、窓口での多言語による行政サービスの充実が図られた。 **課題**）各庁舎１台ずつの配置であることから、複数部署での利用が困難であるため、システムの利用に関して工夫が必要である。 **改善点**）多言語通訳サービスを全庁的に有効活用していく。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

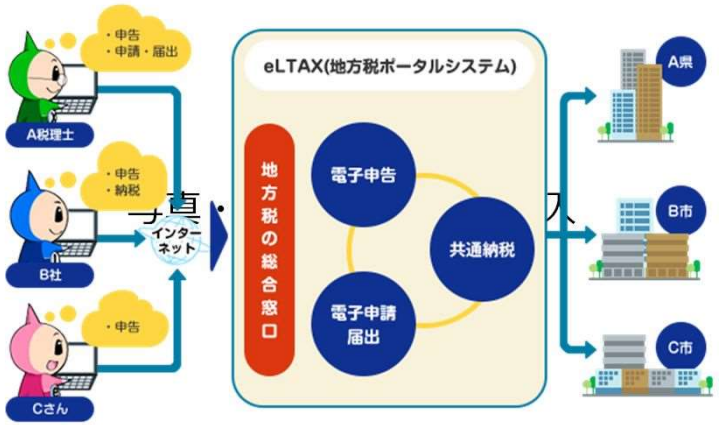
Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**地域魅力UP応援事業**	担当課 グループ	コミュニティ推進課 地域コミュニティグループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	6-1-2-⑴　新たな地域コミュニティの活動支援
事業概要	地域の特性や資源を活かした地域の魅力アップとなる新規事業、または地域の課題解決が図られ、自立的・持続的な地域の活性化並びに共助力向上に寄与する事業で市が適当と認めたものを対象とする。		
成果・課題 改善点	**成果**）地区まちづくり計画に基づき、地域主体の取組が進み、課題解決に向けた実践が図られた。また、地域資源を活かした事業により地域の魅力向上と共助意識の醸成に一定の効果が見られた。 **課題**）担い手の固定化や人材不足により、継続的な事業運営に課題がある。また、地域間で取組や成果に差があり、情報発信や外部への魅力発信も十分とは言えない。 **改善点**）若年層や新規住民の参画促進と負担軽減を図るとともに、優良事例の共有により地域間の底上げを行う。あわせて、SNS等による情報発信を強化し、関係人口の創出につなげる。		
事業評価	**A**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**地方税電子申告支援サービス利用事業 地方税共同機構負担金**	担当課 グループ	税務課課税グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	7-1-3-⑹　行政サービスの利便性の向上
事業概要	地方税に係る電子化を推進し、税務業務の効率化、最適化及び納税者等の利便性向上を図るため、ｅＬＴＡＸの関連サービスとなる地方税電子申告支援サービスを利用する。		
成果・課題 改善点	**成果**）各種申告、手続等が電子化されることにより、納税者の利便性向上と業務効率化が図られた。 ▼住民税特別徴収の決定通知（当初）を、eLTAXによる電子データ送付とした事業所数 令和６年度　305／2,031事業所 ▼令和６年度キャッシュレス納付率3.33% **課題**）令和8年度でシステム更改を予定しており、連携している他システムとの調整に注意が必要である。 **改善点**）市側システムについてもeLTAX側の環境整備に対応していく必要があり、タイミングを見計らいながら進めていく必要がある。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**マイナンバーカード推進事業**	担当課 グループ	市民環境課市民年金グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	7-1-3-⑹　行政サービスの利便性の向上
事業概要	マイナンバーカード利用による行政手続きの効率化や市民の利便性の向上を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）手数料減額を行ったコンビニ交付、キヨスク端末での証明書発行業務や本格移行した保険証利用、マイナポータルを活用した住民異動届等、市民の利便性向上及び業務の効率化に繋げることができた。 **課題**）令和９年度にマイナンバーカードの更新必要件数がピークを迎える予定であり、限られた人員の中で、窓口業務が逼迫し、市民サービスの低下を招く恐れがある。 **改善点**）電子証明書の更新手続きによる市役所窓口の混雑緩和と市民の利便性向上のため、令和７年11月から、志布志郵便局へ当該事務を委託しているが、市民への周知が十分とはいえないため、ホームページや広報誌、行政告知放送等を活用し、周知活動の強化を図る。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**福祉タクシー運行事業**	担当課 グループ	健康長寿課長寿支援グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	1-1-4-⑵　公共交通機関の維持と利便性の向上
事業概要	日用品の購入、通院等に不便を強いられている者等の交通手段を確保するため、福祉タクシーを運行し、交通弱者の利便性に寄与する。		
成果・課題 改善点	**成果**）買い物や通院等に不便を感じている高齢者等の外出に役立った。 **課題**）死亡・転出・施設入所により登録者数・延べ利用者は減少している。 **改善点**）「チョイソコしぶし」と連携し、今よりも利用しやすい運行形態にするための調査・研究を行っていく。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**住宅リフォーム助成事業**	担当課 グループ	建設課　建築住宅グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援プロジェクト**	振興計画 施策名	1-2-1-⑶　地域課題に応じた計画的な整備
事業概要	現在、居住されている、または居住を予定している既存住宅等において、市内の登録事業者によるリフォームを行うなど、一定の条件を満たした場合に、工事費の15%（上限15%）を助成する。		
成果・課題 改善点	**成果**）志布志市における住環境整備において、良質な住宅ストックの形成と活用の促進が図られた。 **課題**）制度開始から10年以上が経過し、空き家の利活用といった課題も生じていることから、利用制限など制度全体の見直しを検討する必要がある。 **改善点**）耐震診断や改修に関する制度はすでに、設けているが、より市民に活用してもらえるよう周知を強化していく必要がある。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**地方創生道整備推進交付金事業**	担当課 グループ	耕地林務課林務グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援**	振興計画 施策名	2-1-3-⑴　生活道路の整備・保全
事業概要	新たに御在所岳周辺の森林整備等を図るための林道として「御在所岳線」の開設を実施し、効率的な森林施業や木材生産を図ることとしている。 また、広域農道の整備を実施することにより、南九州の物流拠点港湾である志布志港や各種施設等の利用促進を図るとともに、安定的な農林水産物広域流通ネットワークや交流人口の増加による志布志市の特性を生かした活力あふれるまちづくりを図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）舗装工事L=638mを実施したことにより、農作業の大型機械による効率化、農作物の荷痛みの軽減及び農業所得の向上並びに農村環境改善が図れた。 **課題**）森林所有者の再造林意欲を喚起するため、造林・保育コストの低減を図る必要がある。 **改善点**）労働力の確保・担い手育成を図るため、雇用の促進・安定化に繋がる労働条件の改善を促進する。		
事業評価	**A**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**デジタル化推進事業（セミセルフレジ等導入事業）**	担当課グループ	会計課会計グループ
総合戦略ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-1　快適な生活支援**	振興計画施策名	7-1-3-⑵　行政サービスの利便性の向上
事業概要	収納窓口における事務手続きの負担軽減や多様なニーズに対応するため、セルフレジ等を導入し市民サービスの向上及び業務効率化を図る。		
成果・課題改善点	**成果**）本庁、各支所に税公金受付システム（セミセルフレジ等）を導入、各支所には入出金機をセットで導入し税務窓口担当課で運用を行うことで支所の公金取扱の専用窓口を廃止することができた。 **課題**）現金払だけでなくキャッシュレス決済まで対応できるようにしたが、システムのデータ連携ができておらず事後処理に課題がある。 **改善点**）キャッシュレス決済の事後処理において受付システムの日計表データを基幹系と連携させることで、事務の効率化を図る必要がある。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ評価	**B**

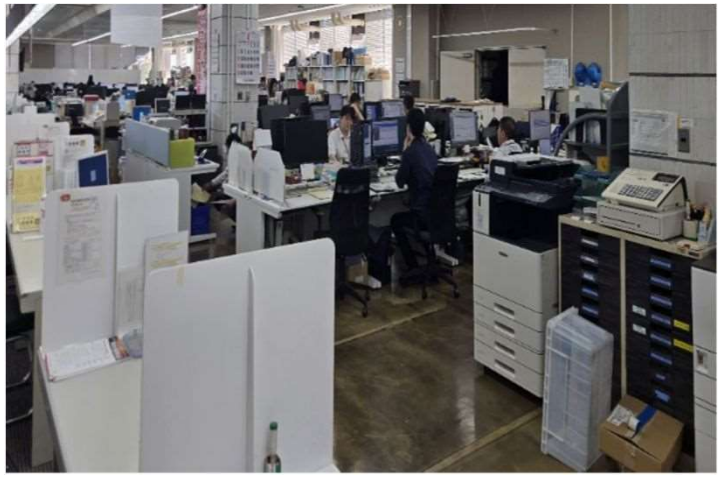
Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**プレミアム商品券（デジタル商品券）発行事業**	担当課 グループ	シティセールス課セールスグループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-2　商工業賑わい創出プロジェクト**	振興計画 施策名	3-3-2-⑶　商業の振興
事業概要	プレミアム率20%を付与したデジタル商品券（一部は従来の紙の商品券）を発行することにより、市内消費者に消費喚起を促し、今なお物価高騰の影響を受けている市内事業者の支援を行う。		
成果・課題 改善点	**成果**）数多くデジタル商品券相談所を開催したことにより、これまでキャッシュレス決済を利用したことが無かった市民も、対面で詳しく設定及び利用方法を学ぶことができ、市民の利便性向上及び加盟店の省力化につながった。 **課題**）・デジタルデバイドへの対策 ・デジタル商品券加盟店の加入推進 **改善点**）これまで【紙の商品券】のみの発行だったが、初めて【デジタル商品券】を導入し、普及に努めた。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**B**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**スマートオフィス事業**	担当課 グループ	財務課財務グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-3　公共施設最適化プロジェクト**	振興計画 施策名	7-1-3-⑴　行政サービスの利便性の向上
事業概要	業務の効率化、グループ制の確立、庁舎スペースの確保を図るため、スマートオフィスを整備する。		
成果・課題 改善点	**成果**）スマートオフィス化により庁舎スペースの確保が図られ、業務がスムーズに行われた。 **課題**）スマートオフィス化は実施されたが、スマートオフィス化に伴う職員の意識改革が進んでいないところもみられることから、更なる意識改革を推進する必要がある。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**松山庁舎LED照明整備事業**	担当課 グループ	総務市民課地域振興グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-3　公共施設最適化プロジェクト**	振興計画 施策名	2-4-1-⑸　脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進
事業概要	松山庁舎の照明については、蛍光灯の安定器が寿命を迎える時期にきており、今後、修繕料の高騰化が予測される。また、蛍光灯照明器具の生産も終了となっているため、LED照明工事を行う。		
成果・課題 改善点	**成果**）議場を除く照明をLED化することにより、省エネ・コスト削減に繋がり、また業務効率も向上し職場環境の改善が図られた。 **課題**）議場の天井部にアスベストが検出され、議場の照明についてはLED化しておらず、今後の庁舎の在り方を含めて検討していく必要がある。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**志布志港の利活用にかかる検討会補助金**	担当課 グループ	みなと振興課みなと振興グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-5　観光パワーアッププロジェクト**	振興計画 施策名	3-4-1-⑸　観光資源の整備、活用
事業概要	志布志港において、人流・交流の機会創出を図り、にぎわい創出のため利活用を推進する。		
成果・課題 改善点	**成果**）令和６年度に釣り文化振興モデル港に指定され、令和６年度に続き、釣りイベント【１日釣り開放DAY】を実施したが、荒天のため当日中止となった。 **課題**）釣り文化進行モデル港は常時開放を目指しているため、現在、イベントを実施している場所では常時開放は難しい。 **改善点**）検討会等において常時開放場所については、検討していく。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**スポーツ合宿誘致促進事業**	担当課 グループ	シティセールス課セールスグループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-5　観光パワーアップ**	振興計画 施策名	3-4-2-⑸　PR・誘客活動の推進
事業概要	行政、民間が一体となった誘致活動や、スポーツ合宿等誘致奨励金を交付し、更なる合宿等の誘致を図るとともに、関係機関・団体と連携して歓迎・交流することによって競技スポーツの底辺拡大や観光振興に寄与することを目的に、一般社団法人志布志市観光特産品協会内に「志布志市スポーツ合宿誘致推進協会」を設置し、スポーツ団体の誘致活動や受入体制を強化することで、合宿や大会の誘致を促進させ地域経済への波及効果につなげる。		
成果・課題 改善点	成果）令和７年度は、本市に合宿・大会で宿泊する（奨励金対象）団体数・延べ宿泊数、共にH26年の最盛期を上回る過去最高の実績となった。また、南九州の温暖な気候やフェリーさんふらわあで関西地区と繋がる地理的優位性を生かし本市や近隣自治体での学びや体験につながる各種コンテンツの開発や関西地区の企業や学校との交流体験メニューを組み入れた本市独自のスポーツ合宿誘致策である「志布志市スポ学体験プラン」構築し更なる合宿誘致に努める環境を確立（誘致動画・パンフレット制作）した。 課題）本地域への更なる経済的波及効果を生み出すこと。 遊休施設を活用した更なる合宿を誘致に努めること。 改善点）スポ学体験プランによる誘致を促進させ、本市の様々な魅力に触れていただきながら域内での散策や体験を通じて市内にお金を落としてもらい、ファンサイト等を通じたお土産物の購入や、ふるさと納税寄附など、域内経済への波及効果につなげていきたい。		
事業評価	**A**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**志布志駅周辺公園　賑わい創出事業**	担当課 グループ	建設課　都市計画グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-5　観光パワーアッププロジェクト**	振興計画 施策名	2-1-4-⑴　公園・緑地の整備
事業概要	「みなと」と「まち」をつなぐ「大浜緑地」及び「鉄道記念公園」を「まちのゲートウェイ」と位置付けるために、「大浜緑地」に遊具や拠点となる収益施設を新設する。 　各施設設置後は、対象公園の指定管理を行い、各種イベントを自由に実施できる環境をつくることで、新しい賑わい創出の場とする。		
成果・課題 改善点	**成果**）令和7年度は、駐車場増設及び園路工（スロープ）を設置し、利用者の利便性を向上することができた。また、遊具の種類やレイアウトについてデザイン選考会を行い、決定した。 **課題**）世界情勢が不安定な中、資材高騰や製造中止などの予期できない事案が発生することが想定される。 **改善点）**本事業は、国・県の補助事業を活用し、令和9年度までの完成させる予定である。事業費の増については、サイズダウンや完成年度を先送りにするなど計画の見直しが必要となる。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

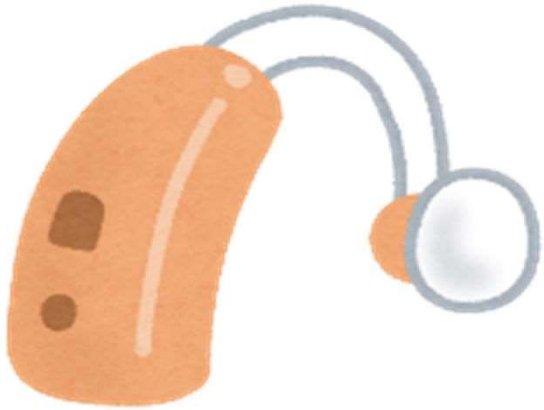
Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**古民家再生事業（歴史のまちづくり事業）**	担当課 グループ	生涯学習課文化財管理グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-5　観光パワーアッププロジェクト**	振興計画 施策名	5-3-2-⑹　伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活用
事業概要	市が所有する歴史的建造物（山中氏邸、木下氏庭園、天水氏庭園）を民間事業者に貸付け、保存と活用を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）市が所有する山中氏邸と木下氏庭園について、活用を図るため民間事業者へ貸し付け、文化財的価値を保持したまま改修を行った。山中氏邸は飲食物販売及び宿泊施設等、木下氏庭園は一棟貸し宿泊施設として令和８年５月１日に開業する。 **課題**）改修した歴史的建造物の活用を、他の歴史的建造物や歴史的資源の活用へと波及させ、志布志東部地区の観光まちづくりを促進させていく。 **改善点**）市が改修費の一部を補助したが、歴史的建造物の改修には多大な費用を要するため、財源の確保や活用方法の検討を行う必要がある。		  山中氏邸　活用イメージ
事業評価	**A**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**補聴器購入助成事業**	担当課 グループ	福祉課社会福祉グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-7　安心暮らし推進プロジェクト**	振興計画 施策名	4-4-2-⑸　障がい者福祉の充実
事業概要	補聴器の購入費用の一部を助成することにより、軽度及び中等度の難聴者の福祉の増進に資する		
成果・課題 改善点	**成果**）補聴器購入の助成より、軽度・中等度の難聴者の日常生活の質の向上、社会参加、認知症予防等が図られた。 **課題**）市報、ホームページなどで周知を図ったが、更なる周知が必要。 **改善点**）居宅介護事業所、包括支援センターなどと連携し、難聴者の把握に努める。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**長寿祝金支給事業**	担当課 グループ	健康長寿課長寿支援グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-7　安心暮らし推進**	振興計画 施策名	4-4-1-⑴　高齢者福祉の充実
事業概要	高齢者の長寿を祝福し、満80歳以上の方全員に３千円の祝金を支給します。		
成果・課題 改善点	**成果**）申請のあった3,804名の方へ支給 **課題**）対象者すべての方へ支給できていない **改善点**）再交付や未申請の方へ申請の有無の確認を行い。対象者すべての方への支給ができるよう取り組む。		
事業評価	**B**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**重層的支援体制整備事業**	担当課 グループ	福祉課社会福祉グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-7　安心暮らし推進プロジェクト**	振興計画 施策名	4-4-3-⑸　地域福祉の充実
事業概要	対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施することにより、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する。		
成果・課題 改善点	**成果**）分野（介護、障害、子育て、生活困窮）ごとの制度に基づき行われている相談支援部門について連携を図り、誰一人取り残さない相談支援体制を構築できた。 **課題**）法制度で定められた相談支援機関やサービスだけではなく、地域で支え合う機能（居場所、交流、見守り）の強化が必要である。 **改善点**）相談支援体制については更なる連携強化に努め、R8年度からは各分野で行われている地域づくり事業に重点を置き、検証・整備していく。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**小中一貫校伊﨑田学園中学校管理教室棟改築事業**	担当課 グループ	教育総務課総務施設グループ （建設課　建築住宅グループ）
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-7　安心暮らし推進プロジェクト**	振興計画 施策名	5-1-1-⑻　知・徳・体の調和のとれた教育の推進
事業概要	施設併設型の伊崎田小中学校を施設一体型の小中一貫校とするため、温かみのある木造校舎を新築する。		
成果・課題 改善点	**成果）**令和８年度の施設一体型小中一貫校「伊崎田学園」開校に向け、伊崎田小学校内に、バリアフリートイレ等を完備した木造校舎を整備した。 **課題**）建設資材の高騰や人手不足により、工事価格の上昇が続いているため、今後の施設整備においても引き続きコストの縮減に努め、適正価格で執行することが求められる。 **改善点**）なし		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**防災行政無線（同報）システム更新事業**	担当課 グループ	総務課危機管理グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-8　地域防災力強化プロジェクト**	振興計画 施策名	2-5-2-⑵　消防用設備・機器の充実
事業概要	防災行政無線の安定運用を図るため、機器の更新と併せて機能強化を行うことにより、市民への迅速かつ正確な情報伝達の充実を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）放送内容を、安心安全メール、市ホームページ、市SNSなどメディア毎に手入力により連携していたが、システムの導入により、多様な情報伝達手段への速やかな対応が可能となった。 **課題**）操作方法などを理解し、担当職員のスキル向上が必要となる。 **改善点**）定期的な操作説明会などを実施し、市民の皆様へ正確な情報伝達を実施する。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**災害対策事業**	担当課 グループ	総務課危機管理グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-8　地域防災力強化プロジェクト**	振興計画 施策名	2-5-4-⑹　防災・減災対策の充実
事業概要	本市で発生が懸念される大規模自然災害（豪雨、台風、地震、津波等）に対して、市民の生命及び財産を守り、迅速な復旧・復興に資するための、各種計画策定、施設整備、備蓄品整備及び防災訓練などを実施し、強靭な地域づくりを計画的に推進する。		
成果・課題 改善点	**成果**）市内各種防災訓練や出前講座の実施、市地域防災計画の見直し、防災講演会の開催等行った。 **課題**）訓練や講演会への消防団員の参加は多くみられるが、一般市民の参加者が少ない。 **改善点**）これまで以上に市民への防災意識向上につなげるため、施設をはじめ関係機関とも連携し、子どもから高齢者まで、一人でも多くの方が参加する取組を実施する。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

Ｒ7主な取組状況と成果等（基本目標４）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

事業名	**第４分団詰所整備事業**	担当課 グループ	総務課危機管理グループ
総合戦略 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ名	**4-8　地域防災力強化プロジェクト**	振興計画 施策名	2-5-2-⑴　消防用設備・機器の充実
事業概要	老朽化している消防団詰所を移転新築し、非常時の確実な出動及び消火体制の充実を図る。		
成果・課題 改善点	**成果**）詰所整備のための土地の選定、買収を行い建設のための土地を確保した。 **課題**）確実な出動及び消火体制の充実を図るため早期の整備を行いたい。 **改善点**）消防団の利便性等を考え、土地を確保する必要がある。		
事業評価	**C**	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 評価	**C**

事業評価

・基本目標４は、８つのプロジェクトから構成されている。
　８つのプロジェクト全42事業の評価について、Ａ評価からＣ評価が全体の約80%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。Ｄ評価、Ｅ評価については、目指す指標を上回るように事業展開の検討の必要性があると伺える。

A評価	B評価	C評価	D評価	E評価	F評価	G評価
6	15	20	1	0	0	0

重要業績評価指数（KPI）

・重要業績評価指数（ＫＰＩ）については、目標達成に至らないが効果が発現しているＫＰＩが約8割を占める一方、効果が発現していないＫＰＩが1割あるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

S評価	A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
0	2	1	8	2	3

※事業評価、ＫＰＩは単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

別紙

第３次総合計画・戦略策定スケジュール（案）

R8.6.2

	令和８年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合計画 総合戦略	計画・戦略の構想・設計			総合計画・戦略の組み立て、各課作業						パブコメ・修正等		完成	
人材育成	打ち合わせ	人材プログラム前半（対面）			定期的なオンラインセッション		人材プログラム後半（対面）			次年度に向けて効果検証等			
調査	契約事務	調査			分析等							報告書完成	
懸案事項等	・業者契約事務 ・業者との打ち合わせ ・人材プログラム参加者等募集 ・計画・戦略の構想、設計等について業者と協議	・各課ヒアリング ・計画策定に必要な資料、データ等の収集 ・戦略作成に必要な資料、データ等の収集 ・人材育成として、ワークショップ等の開催 ・全庁的な作業	・地方創生SDGs本部会議 ・6月議会（肉付予算）	・各課ヒアリング ・計画策定に必要な資料、データ等の収集 ・戦略作成に必要な資料、データ等の収集 ・人材育成として、ワークショップ等の開催 ・全庁的な作業		・9月議会までに骨子を仕上げる	・各課ヒアリング、ワークショップ等の開催 ・計画策定に必要な資料、データ等の収集 ・戦略作成に必要な資料、データ等の収集 ・人材育成として、ワークショップ等の開催 ・全庁的な作業		・12月議会にて案提示	・パブコメ ・次年度に向けての効果検証 ・素案作成、調整作業		・議会議決	総合計画を先に作成し、その後戦略を策定 現在、計画と戦略お細かいスケジュールについては調整中

上記スケジュールはあくまでも現時点の想定です。各課依頼については、随時掲示板等で行う予定としております。

総合計画・総合戦略については、各課と調整しながら策定しますので、計画策定作業の御理解、御協力をよろしくお願いします。

【参考】総合計画と戦略の計画期間

		R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
志布志市	構想	第２次　基本構想		第３次　基本構想（10年）									
	計画	第2次後期基本計画		第３次　前期基本計画（５年）					第３次　後期基本計画（５年）				
	戦略	第２期　総合戦略		第３期　まち・ひと・しごと創生総合戦略（５年）									
国	基本構想	地方創生2.0　基本構想（10年）※中間年度の5年後に必要な見直し											
	全体戦略としての地域未来戦略		全体戦略としての「地域未来戦略」※今年夏ごろ策定予定										
	地方創生に関する総合戦略	地方創生に関する総合戦略※2025年12月23日閣議決定											